

内令提
要登載

内令第千九百五十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年内令第千二百六十八號中「百四人」ヲ「九十二人」ニ、「十人」ヲ「六人」ニ改ム

昭和十八年内令第千四百二十七號中東京海軍通信隊ノ項「五〇」ヲ「二五〇」ニ、海軍省電信課ノ

項「一二〇」ヲ「四」ニ改ム

昭和十四年内令第千九百七十三號、昭和十六年内令第八百九十八號及昭和十七年内令第百號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

東京海軍通信隊

少佐、大尉 隊附 四人

大中尉(水) 隊附 二人(吳、佐世保鎮守府在籍者 各一)

中少尉(水)、兵曹長 隊附 十一人(佐世保鎮守府在籍者 三)

内令

二〇〇九

0287

内令

二〇一〇

兵、曹、水 兵

七十四人（掌暗號兵）

（吳須賀鎮守府在籍者 四八
佐世保鎮守府在籍者 一四
舞鶴鎮守府在籍者 五）

参照

昭和十四年内令第九百七十三號
昭和十六年内令第八百九十八號
昭和十七年内令第百九十八號
ハ東京海軍通信隊ニ人員臨時増設ノ件
同 年内令第千二百六十八號ハ東京海軍通信隊等ノ人員臨時増設ノ件
昭和十八年内令第千四百二十七號ハ暗號關係員配員標準ヲ定ムルノ件

内令第千九百六十號

昭和十八年内令第千七百七十四號中「四百九十一人」ヲ「四百八十八人」ニ、「八人」ヲ「三人」ニ改ム
同年内令第千四百二十一號中「兵曹、水兵 百八十人」ヲ「兵曹、水兵 百八十三人
衛生兵曹、衛生兵 五人」ニ改ム
昭和十八年九月二十日
海軍 大、臣 嶋 田 繁 太 郎

参照

昭和十八年内令第千七百七十四號ハ横須賀鎮守府第一特別陸戰隊ノ人員臨時減員ノ件
同年内令第千四百二十一號ハ横須賀鎮守府第二特別陸戰隊ノ人員臨時減員ノ件

内令第千九百六十一號

昭和十六年内令第八百二十七號中左ノ通改正ス

0288

海軍大臣 嶋田繁太郎

0289

兵科佐尉官	一人		東、名古屋 釜石、若松 長崎、高雄	小樽、大連	函館、釧路 大沼、新池 敦賀、清津 金山、天津	室蘭伊萬里灣
兵曹	二人	二人	一人	二人	一人	二人
特修兵	掌暗號兵二	掌暗號兵二	掌水雷兵 又ハ帆兵 掌暗號兵一一	掌水雷兵 又ハ帆兵 掌暗號兵一一	掌帆兵一 掌電信兵 掌暗號兵一	掌帆兵二 掌信號兵普一

内令

內令第千九百六十二號

賞分ノ間左ノ通人員ヲ臨時減員ス

昭和十八年内令第百三十五號
ニテ本號廢止

内令
要登載

内 令

110111

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四十二防空隊

第四十三防空隊

兵 曹 長

一人

兵 曹、水 兵

三十人

内令第九百六十三號

大東亞戰爭中艦船部隊、航空機及海軍軍人軍屬表彰規程左ノ通定ム

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大東亞戰爭中艦船部隊、航空機及海軍軍人軍屬表彰規程

第一條 大東亞戰爭中艦船部隊、航空機及海軍軍人軍屬戰闘ニ當リ勇敢奇特ニシテ他ノ模範ト爲スベキ行爲アリタルモノ（陸海軍威狀授與規程ニ該當スルモノヲ含ム）ニ對シテハ所屬長官ハ戰闘後直ニ本規程ニ依リ之ヲ表彰スルコトヲ得

0290

聯合艦隊司令長官又ハ方面艦隊司令長官ハ當該艦隊内ニ於ケル表彰ノ統一ニ關シ表彰内規ヲ定ムベシ

各所屬長官相互間ニ於テモ表彰ニ關シ連絡ヲ圖リ之ガ齊一ヲ期スベシ

第二條 前條第一項ノ規定ニ該當スベキモノアルトキハ當該所屬ノ長ハ其ノ都度事由ヲ詳記シ速ニ所屬長官ニ具申スベシ

第三條 前條ノ規定ニ依リ表彰ノ具申ヲ爲スコト能ハザル狀況ノ場合ニ於テハ所屬長官ハ具申ヲ俟タズ之ガ表彰ヲ行フコトヲ得

第四條 所屬長官表彰ヲ爲シタルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第五條 表彰ハ其ノ都度表彰狀ヲ授與シ表彰徽章ヲ付與スルモノトス但シ艦船部隊又ハ航空機ニ對シテハ表彰狀ノミヲ授與スルモノトス

表彰狀ノ様式ハ別紙ノ例ニ依ル

第六條 表彰徽章ハ附圖ノ如シ

第七條 表彰徽章ハ之ヲ右胸部ニ佩ブルモノトス

第八條 表彰徽章ハ本人ニ限り大東亞戰爭中部内限之ヲ佩用スルモノトス

内 令

二〇一三

0291

第九條 本表彰ハ海軍下士官兵善行章令第三條ノ規定ニ依リ特別善行章ヲ付與スベキ場合ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ大東亞戰爭ノ始期ニ遡リ之ヲ適用ス

(別紙一葉添
附圖ハ後送ス)

内令第九百六十四號

昭和十八年内令第九百二十三號中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「中少佐教官 一人」ヲ「中少佐教官 二人」ニ、「六人」ヲ「九人」ニ、「十八人」ヲ「二十四人」

ニ、「二百九十人

掌整備兵 高九六
普三六六
射爆 高
寫眞 普高普高
掌航空兵器兵

ヲ「三百七十七人

掌整備兵 高一四一
普四八
射爆 高
寫眞 普高普高
掌航空兵器兵

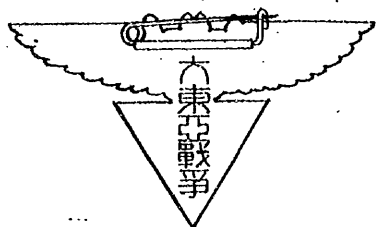
ニ、「十

0292

(附圖)

表面

裏面



(昭和十八年内令第千九百六十三號附圖)

大サ 圖ノ通
櫻花及錨 銀色磨仕上
櫻花及錨以外 銀色燻

0293

人」ヲ「十六人」ニ、「四十二人」ヲ「五十六人」ニ、備考中「九十五人」ヲ「百四十人」ニ改ム

参照 前記内令ハ追濱海軍航空隊（知多分遣隊員ニ充ツベキモノ）ニ人員臨時増置ノ件ナリ

○正誤

本年内令第九百二十一號中「附（乗組）」ノ上ニ「部員、」ヲ脱ス

本年内令第九百二十二號第四十一航空基地隊ノ部中「二〇」ハ「九」ノ「七」ハ「八」ノ孰モ誤

本年内令第九百三十號中昭和十八年内令第五百六十一號ノ下「臨時三人」ヲ「臨時六人」ハ「技

手附臨時三人」ヲ「技師附臨時三人」ノ誤

内令

二〇一五

0294

(別紙)

表彰状(例)

(昭和十八年内令第千九百六十三號)

官 氏 名

右者昭和 年 月 日ノ戦闘ニ當リ(勇敢奇特)ニシテ其ノ行爲他ノ模範ト爲スニ足ル
仍テ茲ニ表彰徽章ヲ授與シテ之ヲ表彰ス

昭和 年 月 日

何艦隊司令長官官位勳功爵氏名

印

註 ()内ニハ其ノ行爲ヲ表示スルニ適當ナル字句ヲ挿入スルモノトス

0295

内令第九百十五號 (所要ノ向ニ配付ス)

内令第九百六十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時減員ス

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府第六特別陸戰隊

大 尉 隊附兼分隊長 一人

軍 醫 中 少 尉 隊 附 一人

兵 曹 長 三人

兵 曹、水 兵 百十一人

主計兵曹、主計兵 五人

衛 生 兵 一人

内令第九百六十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内 令

二〇一九

0296

内 令

二〇二〇

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十一魚雷艇隊

兵 曹、水 兵 六人

内令第千九百六十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦飛鷹

兵 曹、水 兵 十七人(掌砲兵(高四二))

内令第千九百六十九號

昭和十八年内令第九十三號中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0297

内令提
要登載

「書記 附 臨時一人」ヲ「書記 附 臨時三人」ニ改ム

参照 前記内令ハ第百一海軍經理部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千九百七十號

大正十三年内令第百十三號中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人事局ノ項ヲ左ノ如ク改ム

人事局			
兵科佐尉官	主計大中尉	特務士官	主計科特務士官、准士官
九人	三人	各二人 (横須賀鎮守府在籍者 吳、佐世保鎮守府在籍者)	各二人 (佐世保鎮守府在籍者 舞鶴鎮守府在籍者)
當分ノ間			
六人			

参照 前記内令ハ派遣勤務員ヲ置クベキ廳及人員ノ件ナリ(内令提要卷一、四七二頁)

内令

二〇二

0298

内 令

二〇二二

内令第九百七十一號

昭和十八年内令第九百四十五號中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

「臨時四人」ヲ「臨時八人」ニ改ム

参照 前記内令ハ海軍運輸本部ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令第九百七十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増設シ昭和十八年九月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年九月二十日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

第六十五警備隊

軍 醫 科 尉 官 隊 附 一 人

○正誤

内令第九百八十號別表中「第十一號表」ハ「第十號表」ノ誤



0299

内令第千九百七十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年内令第五十三號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

第一海軍衣糧廠

主計	中少佐	部員	一人
技師	部員	一人	
中少尉(機)	機關兵曹長	附	一人
主計中少尉(主)	附	一人	
主計兵曹		二人	

内令

110111

0300

内令

二〇二四

減員

横須賀海軍軍需部

書	記附	臨時一人
技	手、附	三人
	臨時二人	
主、計中少佐	部員	一人
技	師部員	二人
主計中少尉(主)	附	一人
主計兵曹		一人
技	手附	三人

参照 昭和十七年内令第五十三號(横須賀鎮守府(第一海軍衣櫥廠(假稱)設立準備員)ニ人員臨時増置ノ件ナリ)

内令第九百七十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0301

昭和十八年九月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍軍需部

主計科尉官 附 一人

○正誤

昭和十七年内令第四百號別表中准士官「二人」ハ「一人」ノ誤
昭和十八年内令第九百十一號中「護衛隊」ノ下ニ「司令部」ヲ脱ス

内令

二〇二五

0302

内令提
要登載

内令第九百七十五號

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定ム

昭和十八年九月二十二日

第四十七號驅潛特務艇

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令提
要登載

内令第九百七十六號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十二日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

舞鶴防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第六十一號（舞）」ノ前ニ「第四十七號（舞）」ヲ加フ

參照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令提
要登載

内令第九百七十七號

海軍工廠處務規程中左ノ通改正ス

内令

二〇二七

0303

内令提
要登載

内令

二〇二八

昭和十八年九月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十條中「但シ」ノ下ニ「多賀城海軍工廠火工部、」ヲ加フ

附則

本令ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三九頁参照)

内令第千九百七十八號

海軍工廠ニ置ク所要ノ部中左ノ通改正セラル

昭和十八年九月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍工廠ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

多賀城海軍工廠 機銃部、火工部

附則

0304

本令ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三〇ノ五頁参照)

内令第千九百七十九號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年九月二十二日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

海軍工廠定員表其ノ九ヲ別表ノ如ク定ム

附則

本令ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表一葉添)

(内令提要卷一、一四三頁参照)

内令

二〇二九

0305

海軍工廠定員表 其ノ九																
													多賀城			
													多賀城			
考 備		計			附	所 成 養 員 工	部 務 醫	部 計 會			部 工 火	部 銃 機		部 務 總		長
		高	特	士		教 幹 長	部 長	部 計 會	部 工 火	部 銃 機		部 務 總		長		
一 各部(會計部及醫務部ヲ除ク)及工員養成所ニ於ケル士官定員及特務士官定員ハ其ノ合計員數ヲ超過セザル限リ指定ノ科別又ハ員數ニ依ラザルコトヲ得 二 本表ノ外必要ニ應ジ各部ノ士官及技師ヲ工員養成所教官ニ兼補スルコトヲ得		等	務	士	技 兵 大	部 員 軍 醫 大 佐	部 計 會	部 工 火	部 銃 機		部 務 總		長			
		官	官	官	師 官 佐	兼 務 一	部 員 軍 醫 大 佐	部 計 會	部 工 火	部 銃 機		部 務 總		長		
		內兼務三人	一人	二十三人	兼 務 二	兼 務 一	部 員 軍 醫 大 佐	部 計 會	部 工 火	部 銃 機		部 務 總		長		
		判 任 文 官													多賀城	
		五人													多賀城	

内令第九百八十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第九百六十七號中第三潛水戰隊司令部ノ項ヲ削ル

昭和十八年九月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六艦隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附、 二人

兵 曹、水 兵 五十六人(掌水雷兵〔高二八〕)(内佐世保鎮守府在籍者〔高二三〕)

機關兵曹、機關兵 四人(掌電機兵〔高三〕)

兵 曹、水 兵 十六人(掌信號兵 三、掌電信兵 八、掌暗號兵 五)

參照 昭和十八年内令第九百六十七號ハ第一潛水戰隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第九百八十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内 令

二〇三十一

0307



内令
要登載

内令

二〇三三

昭和十八年九月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設砲艦浮島丸

兵 曹、水 兵

四人

機關兵曹、機關兵

四人

内令第九百八十二號

秘密圖書經理規程並ニ水路圖誌及航空圖誌經理規程ノ規定中海軍兵備品會計規程戰時特例ト牴觸スル部分ハ之ガ適用ヲ停止ス

昭和十八年九月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第九百八十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十二日
ニテ本號廢止
昭和十八年九月二十二日
ニテ本號廢止

昭和十八年九月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0308

第十四警備隊

衛生兵曹、衛生兵

一人

内令第九百八十四號

昭和十八年内令第四百七十六號中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

兵 曹、水 兵

十人（掌機雷兵）

（横須賀、佐世保、舞鶴鎮守府在籍者 各二
吳鎮守府在籍者 四）

参照 前記内令ハ海軍機雷學校（潜水艦用機雷調整員ノ基礎員ニ充ツベキモノ）ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内 令

一〇三三

0309

内令提
要登載

内令第九百八十五號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦、航空母艦ノ項ヲ左ノ如ク改ム

航空母艦					
雲龍型	大鳳型	大鷹型	隼鷹型	瑞鳳型	翔鶴型
雲龍、天城	大鳳	大鷹、雲鷹、沖鷹	隼鷹、飛鷹	瑞鳳、龍鳳	翔鶴、瑞鶴
					鳳翔、赤城、加賀、龍驤、蒼龍、飛龍

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令

110315

0310

内令提
要登載

内令提
要登載

内令

二〇三六

内令第千九百八十六號

潜水隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一潜水隊ノ項ヲ削ル

第二潜水隊ノ項中「伊號第十七、伊號第十九、伊號第二十五、伊號第二十六」ヲ「伊號第十六、伊號第十七、伊號第十九、伊號第二十、伊號第二十一、伊號第二十五、伊號第二十六」ニ改ム

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令第千九百八十七號

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラレ

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦雲龍

0311

内令提
要登載

内令第千九百八十八號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス

昭和十八年九月二十五日

軍艦天城

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令第千九百八十九號

海軍衣糧廠ノ所屬及所在地並ニ同廠ニ置ク各部中左ノ通改正セラル

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

大阪警備府

兵庫縣姫路市
第二海軍衣糧廠

總務部、被服部、糧食部、會計部及醫務部

ヲ

横須賀鎮守府

東京都品川區
第一海軍衣糧廠

總務部、被服部、糧食部、研究部、會計部
及醫務部

ニ改ム

大阪警備府

兵庫縣姫路市
第二海軍衣糧廠

總務部、被服部、糧食部、會計部及醫務部

内令

二〇三七

0312

内令提
要登載

内令

二〇三八

附則

本令ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三〇ノ三四ノ四頁参照)

内令第九百九十號

昭和十七年内令第七百三十一號中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

岡山縣岡山市

第二海軍衣糧廠岡山支廠

被服ノ生産及加工ニ關スル事項

ヲ

神奈川縣藤澤市

第一海軍衣糧廠辻堂支廠

被服ノ生産及加工ニ關スル事項

ニ改ム

岡山縣岡山市

第二海軍衣糧廠岡山支廠

附則

本令ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

0313

参照 昭和十七年内令第七百三十一號ハ海軍衣糧廠ノ支廠ヲ置ク其ノ呼稱及分掌事項ヲ定ムルノ件ナリ（内令提要卷一、三〇ノ三四ノ四頁）

内令第千九百九十一號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍衣糧廠定員表ヲ別表ノ如ク改ム

海軍病院定員表其ノ一中横須賀ノ欄分院長軍醫大佐ノ下ニ「一」ヲ加ヘ部員軍醫中少佐「二十」ヲ
「二十二」ニ、同軍醫少佐、軍醫大尉「四」ヲ「六」ニ、同藥劑科尉官「二」ヲ「三」ニ、衛生兵曹
長「八」ヲ「十」ニ、主計兵曹長「一」ヲ「二」ニ、衛生兵曹「八十五」ヲ「九十九」ニ、主計兵
曹「八」ヲ「十」ニ、書記「四」ヲ「五」ニ、衛生兵「三百二十八」ヲ「三百六十二」ニ、主計兵
「十二」ヲ「十四」ニ、士官「七十二人」ヲ「七十八人」ニ、准士官「十人」ヲ「十三人」ニ、下
士官「九十五人」ヲ「百一十一人」ニ、判任文官「四人」ヲ「五人」ニ、兵「三百四十二人」ヲ「二
百七十八人」ニ改ム

内令

二〇三九

0314

内 令

二〇四〇

海軍病院定員表其ノ三及海軍病院定員表其ノ五ヲ各別表ノ如ク改ム

附 則

本令ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表三葉添)

(内令提要卷一、二三二ノ二〇頁参照)

内令第九百九十二號

要内令
修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十五日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

特修兵配置表其ノ二備考第四號中「高等科掌機雷兵三人」ノ下ニ「第一海軍衣糧廠ニ高等科掌經理兵一人、高等科掌衣糧兵三人、第二海軍衣糧廠ニ高等科掌衣糧兵一人」ヲ加フ

附 則

本令ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、四二七頁参照)

0315

計		附	支 廠	醫 務 部	會 計 部	研 究 部	糧 食 部	被 服 部	總 務 部	長		
特 務 士 官	士 官、高 等 文 官											
		衛生中少尉 (主計中少尉)	廠員 主計中少佐	部長 軍醫中少佐	部長 主計中少佐	部長 主計中少佐、技師	部長 主計中少佐	部長 主計中少佐	部長 主計中少佐	主計少將		
三人	十八人 内兼務八人	二	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	一	一	一	一	第一	
三人	十五人 内兼務四人	二	兼務一	兼務一	兼務一		一	兼務一	一	一	第二	
判任文官	下士官	技書 手記					主計兵曹 衛生兵曹					
六人	五人	一五					四二					第一
八人	二人	二六					一一					第二

第十九表ノ十四

海軍衣糧廠定員表

(昭和十八年内令第九百九十一號)

0316

第二十三表ノ三

(昭和十八年内令第九百九十一號)

計		附 衛生中少尉	部 員										副官 軍醫少佐、軍醫大尉	長 軍醫少將、軍醫大佐	第一部長 軍醫大佐	第二部長 軍醫大佐	藥劑部長 藥劑中少佐	藥劑科尉官	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫中少佐	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫科尉官	藥劑少佐、藥劑大尉	藥劑科尉官	衛生中少尉	士官	特務士官
二人	十八人	二	一	五	四	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三人	二十三人	三	一	五	八	四	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二人	十七人	二	一	七	一	三	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二人	十七人	二	一	七	一	三	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	八人		二	二	一	二	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
兵	判任文官	主計兵	衛生兵	書記	主計兵曹	衛生兵曹	主計兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長	衛生兵曹長	主計兵曹長
五十三人	一人	三十四人	三人	一	三	二十一	一	二	一	二	二十一	一	二	一	二	二十一	一	二	一	二	二十一	一	二	二十一	一	二	二十一
七十一人	二人	三十三人	五人	二	五	二十八	二	三	二	二十八	二	三	二	三	二十八	二	三	二	三	二十八	二	三	二十八	二	三	二十八	二
四十九人	一人	三十四人	三人	一	三	二十一	一	二	一	二	二十一	一	二	一	二	二十一	一	二	一	二	二十一	一	二	二十一	一	二	二十一
四十六人	一人	三十三人	三人	一	三	二十一	一	二	一	二	二十一	一	二	一	二	二十一	一	二	一	二	二十一	一	二	二十一	一	二	二十一
三十人	二人	十四人	三人	二	二	十二	一	二	一	二	十二	一	二	一	二	十二	一	二	一	二	十二	一	二	十二	一	二	十二

海軍病院定員表 其ノ三

霞ヶ浦 別府 岩國 大村 華人

霞ヶ浦 別府 岩國 大村 華人

0317

計				附		部員			分院長	部副官兼	長	海軍病院 定員表 共ノ五
特務士官	士官	衛生中少尉	衛生中尉	衛生中少尉	衛生中尉	藥劑科尉官	藥劑少佐、藥劑大尉	軍醫科尉官	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫中少佐	軍醫大中佐	
二人	十一人 内兼務二人	一	一	一	一	一	一	二	五 内兼務二	一	一	大湊
一人	九人 内兼務一人	一				一		一	四 内兼務一	一	一	高雄
一人	六人 内兼務一人	一							四 内兼務一		一	鎮海
	四人 内兼務一人							一	一	兼務一	一	旅順
兵	判任文官	下士官	准士官	衛生兵	衛生兵	書記	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	衛生兵曹	
三十六人	一人	十五人	二人	三十三	三十三	一	十三	十三	二	二	二	大湊
三十三人	一人	十三人	二人	二十一	二十一	一	十一	十一	一	一	一	高雄
十六人		九人	一人	十四	十四		八	八			一	鎮海
十二人		六人	一人	十	十		五	五			一	旅順

0318

内令提
要登載

内令第千九百九十三號

未成ノ航空母艦天城ノ定員表（假定）ハ航空母艦雲龍ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千九百九十四號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

航空母艦定員表其ノ十ヲ別表ノ如ク定ム

（別表一葉添）

（内令提要卷一、四〇七頁参照）

内令第千九百九十五號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

内令

一〇四一

0319

二〇四

海軍大臣 嶋田繁太郎

雲龍

〇四五六	四	四	〇六	西/三	六五	三/七	二/三	一/三	三	〇/九	三/五	六/一	三/四	七/〇	六/三	二	二/四	二/五	三/一	一/二	一/一	一/一	三/七	三/三	九
二/九	一/二	四	二	〇/六	三	二	一	三	六	三	六	三	二	七	〇	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一

五 本表ノ外雲龍ニハ掌水測兵高四三ヲ配置ス

內令第千九百九十六號

卷之五

佐世保鎮守府在籍

軍艦雲龍

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0320

0321

内令第千九百九十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十八年九月二十二日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍兵學校

少 將

副校長

兼務一人(海軍兵學校教頭ノ兼務)

少 佐、大 尉

分隊長

兼務一人(海軍兵學校監事ノ兼務)

海軍機關學校

少 佐、大 尉

分隊長

兼務一人(海軍機關學校教官兼監事ノ兼務)

海軍軍醫學校

軍醫少佐、軍醫大尉
藥劑少佐、藥劑大尉

分隊長

兼務一人(海軍軍醫學校監事ノ兼務)

海軍經理學校

主 計 ^{少將} ^{大尉} ^{大佐}

監事長

兼務一人(海軍經理學校監事ノ兼務)

主計少佐、主計大尉

分隊長

兼務一人(海軍經理學校教官兼監事ノ兼務)

内 令

二〇四三

0322

内 令

二〇四四

内令第千九百九十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十五日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

第二航空戦隊司令部

兵 曹、水 兵

八 人

機關兵曹、機關兵

三人 (掌内火兵
掌電機兵 一)

工作兵曹、工作兵

三人 (掌工兵 一、仕上 一)
〔板金 本具〕

衛生兵曹、衛生兵

三 人

主計兵曹、主計兵

四人 (掌經理兵 一)

内令第千九百九十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十五日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

0323

第六十五警備隊

大 中 尉(水)

隊附兼分隊長

二人(舞鶴鎮守府在籍者)

内令第二千號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦伊勢

兵 曹、水 兵

十二人

機 關 兵

一人(掌機兵(補機)普)

内令第二千一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内 令

二〇四五

0324

軍艦瑞鳳

主計兵 二人

軍艦瑞鶴

主計兵 三人

内令第二千二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第五百十三號中「潮」及「水無月」ヲ削ル

同年内令第六百十九號中驅逐艦皐月ノ部ヲ削ル

同年内令第八百七十四號中「驅逐艦望月」ノ下ニ「皐月、水無月」ヲ加フ

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦潮

兵曹、水兵

二十人(掌砲兵 四)

0325

昭和十八年内令第五百三十三號ハ驅逐艦初級等ニ人員臨時増置ノ件
参照 同 年内令第六百十九號ハ驅逐艦卷波等ノ人員臨時増減ノ件
同 年内令第八百七十四號ハ驅逐艦望月ニ人員臨時増置ノ件

内令第二千三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三百三海軍工作部

技術科尉官

部員兼
造船監督官

一人(技師(臨時)ヲ以
テ充ツルコトヲ得)

内令第二千四號

昭和十八年内令第七百十九號中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「十七人」ヲ「十五人」ニ、「吳鎮守府在籍者一〇」ヲ「吳鎮守府在籍者八」ニ、「三人(佐世保鎮守

内令

二〇四七

0326

内 令

二〇四八

府在籍者」ヲ「二十人（吳鎮守府在籍者一七）ニ改メ岩國海軍航空隊ノ部ヲ削ル

参照 前記内令ハ土浦海軍航空隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

○正誤

本年内令第七百九十三號（内令一八〇九頁末尾ノ行）第五五ノ項中「^三△」ハ「^三△」ノ、本年内令第九百四十九號（内令一九九五頁）本文第七條第一號中「施設ノ計畫」ハ「土木工事ノ計畫」ノ、同第十一條第二號中「關ルス」ハ「關スル」ノ孰モ誤（※）

0327

内令提
要登載

内令第二千五號

昭和十五年内令第六百四十六號特設海軍工作部等ノ所掌區分等ヲ定ムル件申左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第百一海軍工作部サバン分工場ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第百一海軍病院 ペナン分院		所屬艦隊其ノ他各部ノ患者 ノ診療、諸般ノ衛生的検査 及傳染病、消毒ニ各部ニ要 スル治療品ノ準備、保管及 供給ニ關スル事項
ペ ナ ン		

附則

本令ハ昭和十八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三八ノ五一頁參照)

内令第二千六號

昭和十八年内令第八百二十五號申左ノ通改正ス

内令

二〇四九

0328

内令

二〇五〇

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大井海軍航空隊（上海分遣隊及青島分遣隊ノ職員ニ充ツベキモノ）ノ部中備考ノ項「飛行兵曹二十人」ヲ「飛行兵曹七十三人」ニ改ム

参照 前記内令ハ復ケ浦海軍航空隊（千歳分遣隊及三澤分遣隊ノ職員ニ充ツベキモノ）等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二千七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊警備府（船川ニ於ケル船舶保護要務ニ充ツベキモノ）

中少尉（水）、兵曹長 附 一人

兵曹、機關兵曹 二人

0329



内令第二千八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二海上護衛隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附 三人

内令第二千九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

相模野海軍航空隊

少 佐、大 尉 教官兼分隊長 二人

中少尉(整)、整備兵曹長 隊附兼教官(教員) 五人

内 令

二〇五一

0330

中 少 尉(機) 隊附兼教官
 整備 兵 曹 (教員)
 機 關 兵 曹 (教員)
 工 作 兵 曹 (教員)
 整備 兵 十五人

一人(横須賀鎮守府在籍者)
 三十四人(掌整備兵)
 二人(掌電機兵)
 二人(掌工兵)
 十五人

0331

内令第二千十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一監視艇隊

主計兵曹長

一人

内令

一〇五三

0332

内令
要登載

内令第二十號 (後送ス)

内令第二十一號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年九月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

二等潜水艦定員表其ノ一中「第三十九」ノ下ニ「、第四十」ヲ加フ
海防艦定員表中「若宮」ノ下ニ「、平戸」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ六八頁参照)

内令第二十二號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年九月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二〇五五

0333

内 令

特修兵配置表其ノ十七中「第三十九」ノ下ニ「第四十」ヲ加フ
特修兵配置表其ノ十七ノ二中「若宮」ノ下ニ「平戸」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三二頁参照)

二〇五六

0334

内令
登載

内令第二千十三號

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メラル

呂號第四十潜水艦

海防艦 平 戸

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

横須賀鎮守府在籍

海防艦 平 戸

右警備海防艦ト定メラル

昭和十八年九月二十八日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令第二千十四號 昭和十八年九月二十八日

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年九月二十八日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内 令

二〇五七

0335

内令

二〇五八

南東方面海軍航空廠

整備兵曹

五人(掌整備兵)

内令第二千十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十八年九月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

第八艦隊司令部

技術科士官 附

一人

技手 附

二人

減員

第八聯合特別陸戰隊司令部

技術科士官 附

一人

技手 附

二人

0336